

令和2年度 小布施町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証について

計画書 No	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費 (千円)	臨時交付金 (千円)	事業実績	効果・検証等
1	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金を給付する。 (1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円)	令和2年5月	令和2年10月	4,700	4,700	給付件数 47件 給付総額 4,700千円	コロナ禍において休業要請に応じた事業所への協力金の支払いにより、事業継続の下支えを図ることができた。
2	新型コロナウイルス関連事業所向け支援事業	中小企業・小規模事業者の事業継続支援として、新型コロナウイルスによる影響を受けている町内事業者を対象に支援制度の説明会の実施、社労士への相談体制の構築をする。	令和2年6月	令和2年10月	251	251	支援制度説明会の実施 社労士への相談体制の構築	事業者自身が利用できる支援制度や助成金を把握することができた。
3	プレミアム商品券事業	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的にプレミアム商品券を発行する。	令和2年6月	令和3年3月	16,090	8,148	商品券発行総額 14,782千円	町内における消費喚起につながった。また、事業者支援及び町民の生活の下支えを図ることができた。
4	子育て世帯への臨時給付金	子育て世帯への支援として、児童手当の受給世帯を対象に1人1万円を給付する。	令和2年6月	令和2年10月	15,318	15,318	給付人数 1,523人 給付総額 15,230千円	コロナ禍において大きな影響を受けた子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。
5	ひとり親世帯への臨時給付金	就業や子育てに困難を抱えるひとり親世帯への支援として、母子・父子児童福祉年金受給世帯、児童扶養手当受給世帯等を対象に1人2万円を給付する。	令和2年6月	令和2年9月	2,880	2,880	給付人数 144人 給付総額 2,880千円	コロナ禍において大きな影響を受けたひとり親世帯の経済的負担を軽減することができた。
6	小布施町安心して暮らせる家リフォーム等補助金	町内の建設業等に関わる事業者の受注機会の拡大による経済支援、地域経済の活性化と新しい生活様式に対応するための住宅環境の整備支援として、町内施工業者による住宅等の改修等に要する経費の一部を助成する。 (助成額上限20万円、補助率20%)	令和2年6月	令和3年3月	28,860	28,860	補助件数 223件 補助総額 28,860千円	町内の建設業等事業所への経済支援ができた。
7	防災環境整備事業	災害時において避難所に指定されている施設へ空調設備を設置し、3密状態を防ぐことができるようにする。	令和3年1月	令和3年3月	7,645	7,645	栗ガ丘幼稚園へ空調設備の設置	空調設備を設置したことで、衛生環境を整えることができた。

8	公立学校情報機器整備費補助金(単独分・タブレット関係)	新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休校等緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもの学びを保障できる環境を早急を実現するため、小中学校の児童生徒用タブレット端末機及びネットワーク環境等を整備する。	令和2年5月	令和3年3月	15,128	15,128	小学校タブレット端末購入費 10,128千円 中学校タブレット端末購入費 5,000千円	1人1台のタブレット端末を購入したことで、臨時休校等緊急時の在宅学習に備えたICT環境を整備することができた。
9	感染症予防対策費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、町内のマスク・防護服等の確保、検査態勢の強化を行う。	令和2年5月	令和3年2月	1,276	1,276	消毒液、マスク、フェイスシールド、非接触式電子体温計、デジタル温度計、ディスペンサー、アクリルパーテーション、防護服等の購入	感染対策の物品等を整備することにより、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図ることができた。
11	雇用調整助成金上乗せ事業	国からの一律の経済支援規模では、事業継続が難しい事業者に対して支援金を支給する。 (雇用調整助成金の受給事業者に受給額20%、上限500万円で支給)	令和2年10月	令和3年3月	20,349	20,349	支援金支給数 32件 支援総額 20,349千円	事業継続の下支えを図ることができた。
12	プレミアム商品券事業(第2弾)	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的にプレミアム商品券を発行する。	令和2年10月	令和3年3月	52,090	39,198	商品券等発行総額 49,725千円	町内における消費喚起につながった。また、事業者支援及び町民の生活の下支えを図ることができた。
13	保証料、利子補給事業	新型コロナウイルス感染拡大による売上減により運転資金を借入た事業者の融資に係る保証料、利子補給を行う。	令和2年6月	令和3年3月	15,843	15,843	保証料補給件数 27件 保証料補給総額 15,843千円	町内事業者を支援することができた。
14	町出身大学生等応援事業(県外学生分)	小布施町出身で県外で生活し、コロナ禍で不安を抱えている大学生や専門学校生へ町長のメッセージとともに1人5万円を給付する。	令和2年10月	令和3年3月	10,700	10,700	給付件数 214件 給付総額 10,700千円	親元を離れて生活する学生を支援し、コロナ禍での不安を和らげるとともに学業の継続を図ることができた。
15	テイクアウト支援事業	テイクアウト、デリバリー等の非対面販売を始めた飲食店に対し、広告宣伝費、容器代等の費用を1事業所10万円限度で補助する。	令和2年6月	令和2年9月	831	831	補助件数 11件 補助総額 831千円	非対面販売を始めた飲食店の利用促進を図ることができた。

16	家賃補助事業	新型コロナウイルスの影響を受け、売上が減少している事業所に令和2年7月～令和3年1月分の店舗賃借料を補助する。 (補助率3分の1、1事業所60万円限度)	令和2年6月	令和3年1月	7,288	7,288	補助事業数 82事業所 補助総額 7,288千円	事業継続の下支えを図ることができた。
17	インフルエンザ予防接種事業	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が予想される中、これらの感染症が発熱や倦怠感等の共通症状を有することから、各検査や診察等の医療機関の負担軽減を図るとともに、感染拡大防止を目的とし、予防接種費用の2分の1を補助する。	令和2年8月	令和3年1月	10,114	10,114	インフルエンザ予防接種委託料(60～64歳で循環器・呼吸器等の身体障害者1級相当の者、65歳以上高齢者を対象) 7,532千円 接種者数2,596人 インフルエンザ予防接種費用補助金(生後6か月～18歳、妊婦、児童扶養手当受給者を対象) 2,468千円 接種者数:1,627人	補助対象者を拡大し、接種者数の増加・接種率が向上し、インフルエンザ感染者数の減少・症状の緩和により、新型コロナウイルス感染症に割くべき医療資源を確保することができた。
19	非デジタル対応情報提供事業	紙による通知を必要とする町民に情報を提供するため、封入封函機を導入し、これまで複数人が密集した空間で長時間行っていた封筒への封入作業を自動化することで、3密対策を行い、感染防止に繋げる。	令和2年10月	令和2年11月	3,454	3,454	封入封函機 1台導入	封入封函機を導入したことで3密対策ができた。
20 (31)	文化芸術振興費補助金	新型コロナウイルスによる自粛において、展覧会等の再開にあたって必要とされる感染症予防等を行うため、吸引式冷温水機・冷温水ポンプ・冷却水ポンプ改修、既存冷却塔オーバーホール、既存空調設備撤去を行う。	令和2年4月	令和2年9月	31,845	21,845	おぶせミュージアム・中島千波館 吸引式冷温水機・冷温水ポンプ・冷却水ポンプ改修 既存冷却塔オーバーホール、既存空調設備撤去	感染症予防等に対応した施設に設備を改修・撤去できた。
21	選挙事務の自動化に向けた機械設備導入事業	選挙事務の自動化に向けアプリケーションを導入し、選挙事務のリモート化を進めることで密集する作業を避けて感染防止に繋げる。	令和2年10月	令和2年11月	398	398	選挙事務アプリケーション導入	3密を回避し、感染症拡大防止を図ることができた。
22	決裁(勤務簿等)・文書目録等の電子化アプリケーション導入事業	庁舎内のリモート環境を整備、紙ベースの文書量の削減を目指し、決裁等の電子化を推進するアプリケーションと文書管理システムを導入し、業務のリモート化を進めることで密集した庁舎としないことで感染防止に繋げる。	令和2年10月	令和3年3月	4,774	4,774	電子決裁アプリケーション導入	職員同士の接触が減少し、感染症拡大防止を図ることができた。
23	庁舎電気センサー設置事業	庁舎内で頻繁に消灯・点灯を繰り返す電気について、接触感染を避けるため、非接触型のセンサー方式に改修する。	令和2年10月	令和2年11月	620	620	庁舎女子更衣室、2階トイレ、教育委員会側男女トイレ、3階トイレ非接触型センサー設置	非接触型のセンサー式にしたことで、感染リスクの低減が図られた。
24	オンライン会議システム・モニター等の整備事業	オンライン会議に対応するため、役場会議スペースにおけるモニターとカメラの導入を実施し、業務のリモート化を進める。	令和2年10月	令和2年11月	297	297	ディスプレイカメラ3台、ウェブカメラ3台導入	新型コロナウイルスが流行し、オンライン会議の機会が増える中、リモート化することができた。
25	防災倉庫の新規導入・改修 防災備蓄品の更新事業	避難所の3密を回避するためにパーテーションやフェイスシールド等の備品を整備するとともに、増加する備品の保管用の倉庫を増設する。	令和2年10月	令和3年3月	16,047	16,047	防災倉庫設置、オゾンガス除染装置設置 ドントコイ、トイレ用洗キット、シュラフ、テント、折りたたみ式簡易ベッド、間仕切り、フェイスシールド、非接触温度計、粉ミルク、哺乳瓶、アルコール石鹸等購入	避難所の感染防止対策に必要な物品を購入し、災害時の避難所開設に備えた感染症対策を実施できた。

29	総合公園内トイレ自動水栓化事業	接触感染を避けるため、総合公園内トイレを自動水栓化する。	令和2年10月	令和3年3月	4,210	4,210	スポーツコミュニティセンター1階トイレ 7台 スポーツコミュニティセンター2階トイレ5台 スマートインター横トイレ 7台 遊具広場トイレ 5台 マレットゴルフ場トイレ 3台	接触感染のリスクを低減させることができた。
30	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金(単独分)	GIGAスクールの実現に必要なネットワーク環境を整備する。	令和2年9月	令和3年3月	8,000	8,000	栗ガ丘小学校・小布施中学校校内ネットワーク環境整備工事、タブレット端末設定	GIGAスクール構想の加速化が求められる中、ネットワーク環境を整備することができた。
32	駐車場等トイレ自動水栓化事業	接触感染を避けるため、町の駐車場等町所有施設のトイレを自動水栓化する。	令和2年10月	令和3年1月	438	438	浄光寺前トイレ、松村駐車場トイレ自動水栓化	接触感染のリスクを低減させることができた。
33	賑わい創出事業	新型コロナウイルス感染症の影響により疲弊した町内事業者の支援、町内経済活性化のため、新聞やテレビでのPRを実施し、町内の賑わいを創出する。	令和2年10月	令和3年3月	3,940	3,940	春・秋テレビ番組特集 2日 テレビ・ラジオCM放送 29回 新聞広告掲載 9回	テレビ番組の放映や広告掲載により、美術館等入館者の増加や町内事業者の利用促進が図られ、町内の賑わいを創出し、事業継続の下支えができた。
34	防災環境整備事業	令和元年度に台風による河川越水の災害の被害を受けた当町において、令和2年度秋に台風による同様の災害が発生した場合、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営が困難であり、3密状態により感染が拡大する恐れがあることから、緊急的に川沿いに土のうを設置し、公共施設での感染機会を削減する。	令和2年10月	令和2年10月	42,218	22,206	千曲川沿い、松川沿い土のう設置	災害緊急時の対策として、避難所が運営できるよう河川堤防への土のう設置による水防強化を図り、避難所運営における感染拡大リスクの予防を図ることができた。
35	町出身大学生等応援事業(県内学生分)	小布施町出身で県内でアパート等を借りながら生活し、コロナ禍で不安を抱えている大学生や専門学校生へ町長のメッセージとともに1人5万円給付する。	令和3年1月	令和3年3月	1,250	1,250	給付人数 25人 給付総額 1,250千円	親元を離れて生活する学生を支援し、コロナ禍での不安を和らげるとともに学業の継続を図ることができた。